校友だより

校友会長賞を受賞して

濱田　潤
法学部法律学科
平成29年3月卒

この度は、平成29年3月の授賞式におきまして、校友会会長賞という栄えある賞を賜り驚きと喜びでいっぱいでございます。白戸会長をはじめ選考に当たられました諸先輩方の御厚情に深く感謝申し上げます。

私は、平成25年4月に日本大学通信教育部法学部法律学科に入学しました。1年の時は、日本大学通信教育部の特色でもある昼間スクーリングを中心に受講し、大学の単位の取り方について仲間たちと試行錯誤しながら話し合っていた時を思い出します。2年の時は、日本大学法学部法曹会主催の伝統ある法律討論会に通信教育部として出場しました。そこで、私たちのグループは、見事準優勝を得ることができました。また、オール日本大学が行っている学生FDのスタッフとしても卒業までの3年間かかわらせていただき、日本大学の職員・教員・学生の層の厚さなどを実際に体験し、他学部の仲間たちと日本大学について学ぶことができました。また、通信教育部の入学説明会においても、ご入学を検討されている方、その保護者様の前で、在学生として通信教育部の楽しさや授業の取り方などの説明もさせていただきました。その後、大学のキャンパスで私が説明させていただいた人を見かけたときは、嬉しさと共に自分の言葉の責任の重さを感じました。

授賞式が終わって今思うことは、この栄誉は決して自分だけの努力や成果ではないということです。これまで私を指導していただいた教職員の皆様と、自分が困難にぶつかったときに支えてくれた仲間たちのお陰であると実感しています。今後も多くの人たちとの絆を大切にして、仕事や学業に邁進していきたいと思います。まだまだ未熟浅学の身ではありますが、諸先輩方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本大学通信教育部校友会の益々のご発展を、心よりお祈り申し上げます。

校友会長賞を受賞して

松尾百合子
法学部法律学科
平成29年9月卒

この度は、校友会長賞という栄誉ある賞を賜り、とても光栄に思います。ありがとうございます。仕事、家事、育児をこなしながらの単位取得は大変に厳しく長い道のりでありましたので、卒業だけでも奇跡的なのに賞までいただいてしまい何だか夢のようです。私がここまで励んでこられたのは、家族の協力、職場の理解、学友や先生方の励ましのおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私が、そもそも日本大学通信教育部に入学した目的は、法律を一からきちんと学ぶことでした。以前から宅地建物取引士やマンション管理士等の資格取得の時に民法などの勉強はしておりましたが、仕事をするうえで必要な知識をもっと深めるため、大学で法律の根本的なところから学び直そうと思いました。そこで、できるだけ生講義にこだわり、民法Ⅰと民法Ⅲ、刑事訴訟法は昼間スクーリングを受講しました。民法は、法律がつくられた当時の歴史的背景や意義から学び、4000文字の試験リポートにも挑戦しました。今まで資格試験用の暗記中心の勉強しかしてこなかった私には、論理的に説明しなければならないリポートはとても難しく苦労しました。でも、このことは物事を何となくの感覚や感情ではなく、その理由をきちんと論理的に説明することの大切さも学ぶことができ、日常生活や他のリポート作成にも役立てることができました。また、刑事訴訟法の講義では先生のご厚意により、東京地裁の裁判を傍聴や栃木刑務所の参観もさせていただき、生の法律を学び感じることもできました。法律は、日常生活に密接するルールであり、特別な法律家だけが取り扱うものではなく、私たち一般市民も身近に触れるものであることも実感できました。

このように、多くの学びの成果を得て卒業することができましたが、ここで終わりではなく今後も学び続けていきたいと思っています。実際にいま、夜間スクーリングのオープン受講で再び法学を学んでいます。これからは、仕事と家庭の両立がメインとなりますが、勉学も続けることにより、常に自分をアップデートしていきたいと思っています。

ヨーロッパを歩く(30)
ノートル・ダム大聖堂(2)

相談役　小西長之助

1987年11月23日(月)、10時過ぎにノートル・ダム大聖堂の中に入ったが、薄暗くて目が慣れるまで立ち止まっていた。

今日は、昨日のようなオルガン演奏やミサ曲の合唱がないので静かだ。だが、観光客の感嘆の声とか雑談などが聞こえてくる。それでもなぜか、敬虔な気持ちになる。

南の入口の上部にあるバラ窓のステンド・グラスに太陽光がさし込んでおり、あまりにも美しい模様と彩りに思わず「うわー！」と声をあげてしまった。

バラ窓の下にも、聖者と思われる人たちをデザインした縦長のステンド・グラスが左右にずらりと並んでおり、大勢の観光客がため息をつきながら、カメラを向けている。

聖堂内の暗い部分の明るさと、ステンド・グラスからさし込む太陽光の明るさは極端に違うので、ステンド・グラス部分の明るさを測定してカメラの絞りとシャッタースピードを決め、三脚は禁止なので、200ミリの望遠レンズを両手でしっかり支えて数回シャッターを切った。

9千人も収容できるというこの聖堂で、1160年にフランス国王ルイ6世の婚礼が挙行され、以来数々の王家などの慶弔行事が行われた。1800年ほど前には、皇帝ナポレオン1世の戴冠式も行われた。

ルーブル美術館で観た画家ダヴィッドの大作「皇帝ナポレオンの聖別式と皇妃ジョセフィーヌの戴冠式」が目に浮かぶ。かつてナポレオンがいたという同じ空間に、自分が今いるんだ思うと一瞬親しみが湧いたが、やはり歴史の重みには圧倒されてしまう。

聖堂の外へ出たとき、11時を少し過ぎていた。広場の観光客は、先ほどよりぐんと増えている。今も3台の大型バスから色とりどりの服装の人たちが続々と降りており、日本人の顔も見える。

北塔の屋上への登り口には、60歳代に見えるパリジェンヌの番人がいた。10フランス・フラン(約250円)を支払って中へ入る。狭い400段近い螺旋階段を、薄暗いなかぐるぐる回りながら上り、グランド・ギャルリの上にあるギャルリ・アジュールに出る。

ヴィクトル・ユゴー原作の映画「ノートルダムのせむし男」に出てくる怪獣や怪獣の彫刻がある魔除けの雨樋などを見ながら、展望台になっている南塔へ移る。

この南塔には、重さ13トンの大鐘がある。舌だけでも500キロある。17世紀にこの鐘を鋳造したとき、貴婦人をはじめ多くの女性が競って金銀の装身具を溶けたブロンズの中へ投げ込んだため、澄みきった非常にきれいな音がすると言われている。

映画「ノートルダムのせむし男」のなかで、せむし男の鐘楼守カジモドが愛するジプシー娘エズメラルダを抱きかかえ、狂ったように打ち鳴らしていたのがこの大鐘かと思うと、すごく感動した。

南塔の屋上の周りには、幅1メートルほどの通路があり、防護と装飾を兼ねた腰の高さくらいの石の欄干風のものがあるだけの露天展望台だ。初めて見るパリ市内の全方向の俯瞰景観を、興奮しながら撮りまくった。

南の方向に見えるパンテオンを背景にして、三上氏と記念のポートレートを取り合ったあと地上へ降りた。

ノートル・ダム広場は、相変わらず大勢の観光客で賑わっている。

ライフワークの写真全集完結!!

本部相談役　小西 長之助〈香川県支部〉

平成15年8月から順次発刊していた「小西長之助写真全集」(全100集)が、28年12月に第100集の発刊をもって完結しました。

この写真全集は、北海道から九州までの風物の作品460点、西ヨーロッパ7ケ国(イギリス、ベルギー、フランス、ドイツ、スイス、イタリア、ヴァティカン市国)の風物の作品460点、あわせて1030点の作品を収録しています。

写真作品はA4判で、作品ごとに解説文をつけており、そのまま額装して鑑賞できるようにバラにしてあり、テーマ別に10点の作品を一集として厚手のレザック・ペーパーのケースに収めています。

収録作品を選ぶ作業のときは、シャッターを切ったときの情景や同行した友などのことが昨日のように蘇り、感無量でした。

写真全集は、平成29年5月に発刊した「小西長之助パリ写真集」とともに私の最重要ライフワークであり、ほぼ半世紀にわたる写真生活の成果の大部分を占めていて、ビジュアルな自分史の記録となりました。

お詫び

会報第90号の8面に掲載した「ヨーロッパを歩く(29)」の一段目18行目の「景観」は誤りで、正しくは「警官」でした。編集作業で見落としていました。ここに訂正とお詫びを申し上げます。

(師田　袈裟茂)

出版の紹介

この度、写真集「パリの印象」と文集「ヒッチハイク」を出版しました。

写真集は、著者が昨年「米寿」を迎えた記念に、5回のパリ行きで撮影した映像をもとに製作したもの。A4判、153ページ、221作品収録、送料込み4千円。

文集は、西ヨーロッパ7か国を延べ7回撮り歩いたときの、カルチャー・ショックを受けたことなどの「こぼれ話」をまとめたもの。A5判100ページ、48話収録、送料込み千円。

著者　本部相談役
小西長之助(香川県支部)

日本大学通信教育部校友会　相談役
㈱クレアー化粧品代表取締役　会長
石川寿朗
〒188-0012 東京都西東京市南町五-十二-四
TEL 〇四二-四六一-六一三八
FAX
携帯 〇九〇-五七五七-五八三二

日本大学通信教育部校友会　事務局長
日本大学経済学部校友会　幹事長代理
日本大学校友会東京都第五支部　板橋桜門会幹事長
江﨑泰元
葵コーポレーション株式会社　代表取締役
本社 〒114-0015 東京都北区北中里一-二〇-一〇 水野ビル
電話 〇三-五八一五-二二一五(代)
FAX 〇三-五八三四-二〇〇三

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・総務部長
日本大学校友会埼玉県支部　常任幹事
脇岡堅一
〒344-0064 埼玉県春日部市南二-四-一六
電話 〇四八-七三八-七一三〇

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長　財務部長
日本大学千葉桜友会　顧問
山本良吉
〒290-0011 千葉県市原市能満一三〇六-三
勤務先　市原田園ホーム㈲
TEL 〇四三六-二五-一三三二
FAX 〇四三六-二四-二五五一

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・広報部長
師田袈裟茂
〒225-0005 横浜市青葉区荏子田二-六-二
TEL
FAX 〇四五-九〇三-一八二二

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・組織部長
日本大学通信教育部校友会　埼玉県支部　顧問
鎌子健
事務局 〒102-8005 東京都千代田区九段南四-八-二十八 日本大学通信教育部内
TEL 〇三-三二三四-五八五八
FAX 〇三-三二三四-五八五八
自宅 〒340-0156 埼玉県幸手市南二-十九-二十七
TEL 〇四八〇-四三-〇九四六
携帯 〇九〇-四一二一-六三五〇
E-mail:kamaken@dune.ocn.ne.jp